



TAPS

公共空間を考える会

8th Forum



公共空間のことは、
みんなで考えよう。

開催日：2023年11月12日(日)

開場：13:00 開演：13:30 終了：16:30 (予定)

会場：CCC 静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター 2F 多目的ルーム



富山市のコンパクト→スマートシティ構想に学ぶ 「SDGs 未来都市」の在り方

第一部 基調講演 13:30~14:30

「世界のモデルにもなった富山市の都市戦略。その成功の秘密とは。」

講師 / 美濃部雄人 みのべゆうじん (富山市副市長、前静岡市副市長)



Yujin Minobe

2003 年度、コンパクトシティ政策の検討を開始。当時、全国で最も人口密度が薄い県庁所在都市、全国 2 位の自動車依存都市でもあった富山市が、2018 年には「SDGs 未来都市」にも選定され、今や多くの地方都市再生の手本となり、その戦略は海外でも高い評価を得ています。富山市ではコンパクトなまちづくりを基本方針として、次世代型路面電車 (LRT) を含む公共交通機関を整備し、社会インフラを集積してきました。そして、住民の方々にできるだけ沿線に居住してもらえるよう、様々な施策を実施しています。その基本となるのが、マーケティングの視点も取り入れた「都市経営」の発想です。そこには、様々なアイデアが実行されています。2022 年度には、センサーネットワークやデータ連携などを活用して市民生活の質や利便性の向上を図る「富山市スマートシティ推進ビジョン」を策定。「誰一人取り残されることなく、便利で安心して暮らせるまち」を目指し、多様性を尊重し、ますます深化を続ける富山市の秘訣は？ 政策の継続とも言われていますが、その戦略の裏側に迫りながら、静岡市の在り方を探っていきたいと思っています。

(公共空間を考える会 クリエイティブディレクター / 甲賀雅章)



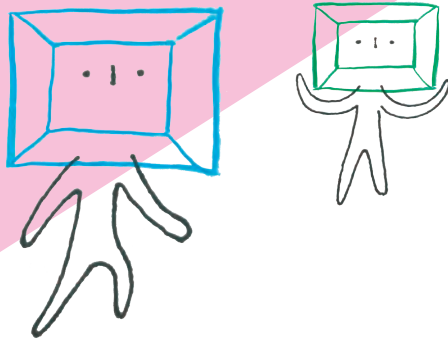
Profile
1962 年 10 月 12 日京都市北区生まれ。
1987 年 3 月京都市大学院工学研究科 通土木工学専攻修了。
国土交通省 (建設省) 都市計画課、都市政策課、街路課、都市安全課、復興庁、などで主に都市計画行政に従事するほか、以下のとおり様々な分野に従事
・静岡県、福井県などの地方行政、高知、旭川などで道路・河川の現場、
・建設政策研究センター、国土技術研究センターなどでの政策研究
・JR 東海でリニア中央新幹線の計画 (主に安全対策・ターミナルに係る設計)
・東海市・静岡市において副市長
2022 年 7 月~現在 富山市副市長

「市民の想いと行政の思い。いいまちとは何でしょう?」

TAPS

公共空間を考える会

8th Forum



第二部 14:40~16:30 (予定)

「静岡市の未来を考えるトークセッション」

富山市は誰一人取り残されることなく、便利で安心して暮らせるまちを目指しています。

2003年から変わらない政策が継続されています。

静岡市の公共空間づくりにずっと関わってきた建築家「鳥居 久保」、

沼津で次々と新しい仕掛けを展開するデザイナー「大木 真実」、

学生時代から新たな視点で静岡市のまちづくりに関わる市民活動家「西 美有紀」を交えて、

静岡市の未来形を探ってみたいと思います。



大木 真実 おおき まみ

NDC&DESIGN INC.

デザイナー/アートディレクター

■ Profile

大阪府生まれ。大阪芸術大学デザイン学科卒業。ご縁があり沼津へ嫁ぐ。社会人になった時からなんとなく思い描いていた職住遊を分けない暮らしがしたいと思い、自宅から徒歩3分で子どもの通学路にある商店街にグラフィックデザイナーのためのシェアオフィス「NUMAZU DESIGN CENTER」をオープン。まちの隙間空間を会場にした移动式ミニシアター「スキマ cinema」を主宰。また、地域の文化・芸術振興に取り組む NPO 法人レザミ・デ・ザールの理事に就任。欲しい暮らしは自分でつくりながら、まちを暮らしこなすことを実践している。



西 美有紀 にしみ ゆき

一般社団法人草薙カルテッド

コミュニティマネージャー

■ Profile

兵庫県出身。2012年、静岡県立大学入学を機に静岡市草薙へ移住する。大学生と草薙の住民、商業者との連携による地域活性化を目指す学生団体で活動していた。大学卒業後は民間企業に勤めながら、草薙商店街のイベントの実行委員会や、こども食堂の運営など、草薙地域での活動をプライベートで継続。2021年に(一社)草薙カルテッドへ転職し、草薙駅周辺エリアのエリアマネジメントを行う。



鳥居 久保 とりい ひさやす

一級建築士

企業組合 針谷建築事務所会長

■ Profile

1954年静岡市生まれ。東京理科大学工学部建築学科卒業。公共建築の設計や住宅設計において建築賞の受賞多数。静岡市の都市計画マスタープラン策定地域協議会委員やまちづくり支援システム検討委員会委員等を歴任、建築家の立場からまちづくりや都市再生に提言を行う。



TAPSとは?

TAPS (公共空間を考える会) はイギリスにおける CABE (英国建築都市環境委員会、イギリスの都市計画におけるデザイン管理の支援システム) に学び静岡市における公共空間の使い方、デザインの管理を目指し設立された任意団体です。構成メンバーは、建築家、弁護士、会計士、音楽家、市民運動家、パフォーマー、デザイナー、編集者、プランナー、市議会議員など実に多岐にわたります。皆さんも参加してください。

連絡・お問い合わせ先

公共空間を考える会

(地球ハウス内)

taps.shizuoka@gmail.com

Tel: 054-209-5676

Fax: 054-209-5675

〒420-0839 静岡市葵区鷹匠 3-3-1 井口ビル
地球ハウス 営業日: 月・水・金 9:30~16:00



コーディネーター

甲賀 雅章 こうが まさあき

創造の広場主宰 Creator

■ Profile

静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター (CCC) コーディネーター
NPO 法人 Be Creative 理事長
大阪府立江之子島文化芸術創造センター館長 (2012.4~2022.3)
大道芸ワールドカップ in 静岡プロデューサー (1992~2017)
広義の意味でのデザイン、文化戦略を、21世紀型経営の最重要資源として位置づけ、企業、地方自治体等の活性化におけるコンサルティング活動を展開。2021年からは Mobile Theatre (回遊型体験演劇) 制作委員会を立ち上げ、公共空間における新たな身体表現、海外公演を視野に入れた作品制作にも取り組んでいる。



参加費
無料

先着 60 名様 ※お申し込み QR

(事前のお申し込みをお願いします。)

<https://forms.gle/TQBMshbQfbXjxSRG9>



静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター

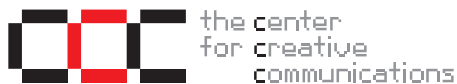
〒420-0035 静岡市葵区七間町15番地の1 TEL.054-205-4750 FAX.054-260-4550

info@c-c-c.or.jp <https://www.c-c-c.or.jp/>

開館時間/午前10時~午後9時

休 館 日/毎週月曜日および12月29日~1月3日 ※月曜日が祝日の場合、翌日以降の最初の休日以外の日

クリエイティブを、育む、活かす、魅せる。



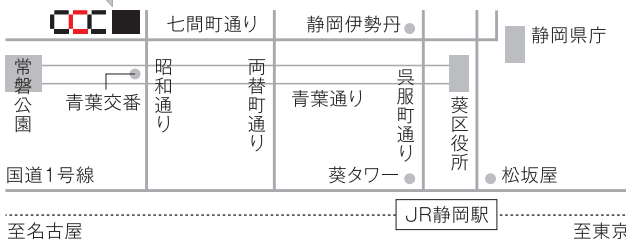
ご来館の際は公共交通機関をご利用ください。

■ JR静岡駅より徒歩約14分 ■ 静鉄新静岡駅より徒歩約13分

■ 静鉄ジャストライン「県庁・静岡市役所葵区役所前」停留所より徒歩約8分、「七間町」停留所より徒歩約2分



駐車場はございません
近隣の有料駐車場をご利用ください。



Homepage



Instagram